



2022年3月25日

各 位

会社名 CKD株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 奥岡 克仁
コード番号 6407
問合せ先責任者 経理部長 竹澤 正
TEL 0568-74-1002

第三者割当による行使価額修正条項付第1回及び第2回新株予約権に係る
資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年2月17日付のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第1回及び第2回新株予約権の発行条件等の決定に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」について変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2020年2月17日付のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第1回及び第2回新株予約権の発行条件等の決定に関するお知らせ」のとおり、第三者割当による行使価額修正条項付第1回及び第2回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）の発行及び行使により当初9,506,625,000円の調達を見込んでおりましたが、当社の株価変動も影響して、本新株予約権の行使完了までに総額7,814,007,820円を調達いたしました。

これまで更なる事業拡大を目的として、積極的に設備投資を行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染が、世界的に拡大する時期と重なり一部の資金使途に対して計画どおり進んでいないことから、資金使途について再検討すべきと判断いたしました。

資金使途の再検討を進める中で、最優先で対応すべき課題は自動化設備を含めた生産能力増強と捉え、中でも流体制御機器の生産能力増強を重点に充当することといたします。

以上を踏まえ資金使途と支出予定時期を下記のとおりに変更することといたしました。

2. 変更の内容

2020年2月17日付のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第1回及び第2回新株予約権の発行条件等の決定に関するお知らせ」にて記載いたしました資金使途と支出予定時期のうち、変更箇所は以下のとおりです。（変更箇所は下線で示しております。）

<変更前>

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① 流体制御機器分野の拡大を見据えた生産能力増強及び自動化投資	<u>4,507</u>	2020年4月～ <u>2022年3月</u>
② F A事業拡大を見据えた生産能力増強と自動化投資	<u>3,300</u>	2020年4月～ <u>2022年3月</u>
③ 次世代アクチュエータ用要素部品の量産試作用設備投資	<u>700</u>	2020年4月～ <u>2022年3月</u>
④ 事業活動で消費するエネルギーのクリーン化と省資源化にむけた設備投資	<u>1,000</u>	2020年4月～ <u>2022年3月</u>
合計	<u>9,507</u>	

<変更後>

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 流体制御機器分野の拡大を見据えた生産能力増強及び自動化投資	3,700	2020年4月～2023年3月
② F A事業拡大を見据えた生産能力増強と自動化投資	2,750	2020年4月～2023年3月
③ 次世代アクチュエータ用要素部品の量産試作用設備投資	500	2020年4月～2023年3月
④ 事業活動で消費するエネルギーのクリーン化と省資源化にむけた設備投資	864	2020年4月～2023年3月
合計	7,814	

- ① 流体制御機器分野の拡大を見据えた生産能力増強及び自動化投資
- ・東北工場のクリーンルーム拡張や自動化設備の導入(900百万円)
 - ・北米向け生産拠点設置(1,550百万円)
 - ・春日井工場の生産能力増強や自動化設備の導入(1,250百万円)
- ② F A事業拡大を見据えた生産能力増強と自動化投資
- ・四日市工場及び犬山工場の生産能力増強や自動化設備の導入(2,750百万円)
- ③ 次世代アクチュエータ用要素部品の量産試作用設備投資(500百万円)
- ④ 事業活動で消費するエネルギーのクリーン化と省資源化に向けた設備投資
- ・省エネタイプの空調設備やコージェネレーションシステム導入(864百万円)

3. 調達した資金の充当状況

具体的な用途	金額 (百万円)	支出時期
① 流体制御機器分野の拡大を見据えた生産能力増強及び自動化投資	予定 3,700	2020年4月～2022年3月
	実績 2,250	
	差分 1,450	
② F A事業拡大を見据えた生産能力増強と自動化投資	予定 2,750	2020年4月～2022年3月
	実績 1,077	
	差分 1,673	
③ 次世代アクチュエータ用要素部品の量産試作用設備投資	予定 500	2020年4月～2022年3月
	実績 146	
	差分 354	
④ 事業活動で消費するエネルギーのクリーン化と省資源化にむけた設備投資	予定 864	2020年4月～2022年3月
	実績 448	
	差分 416	

4. 今後の見通し

本件による2022年3月期の業績に与える影響はありません。なお、今後、開示すべき事項が発生した場合、判明次第速やかにお知らせいたします。

【ご参考】

本新株予約権の発行に関する詳細につきましては、2020年2月12日付のプレスリリース「自己株式の消却に関するお知らせ並びに第三者割当による行使価額修正条項付第1回及び第2回新株予約権の発行に関するお知らせ」及び2020年2月17日付のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第1回及び第2回新株予約権の発行条件等の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

以上